

実り多かつた交流会

十月三〇日、午前九時、参加者二三名を乗せたバスは、松戸方面に向かいました。最初に戸定が丘歴史公園を見学しました。

水戸藩最後の藩主であった徳川昭武が建設した戸定邸は、明治前後の大規模な上流住宅の姿を示すものとして、全国的に貴重なものです。多い部屋数や、立派な柱に驚きました。歴史館では、企画展「徳川昭武のヨーロッパ体験」を見学しました。

一八六七年、昭武は將軍名代としてパリ万博に赴き、ヨーロッパ各国の元首と宮廷外交を行いました。日本とヨーロッパとの文化交流に歴史の目を開かせられました。

次に、千葉大園芸学部を見学しました。フランス庭園、イタリア式庭園、イギリス庭園などがありました。イチヨウ、カエデ、サクラ、ツバキなど大きな木がたくさんありました。四季折々に訪れたいと思いました。

次に、松戸市女性センターゆうまつどに移動して、交流会を行いました。

最初に、高橋松戸市ボランティア連絡協議会会長さんから挨拶がありました。「加盟団体が二七。参加者は約一七〇〇名です。柏市ボランティア連絡協議会とは初めての交流会です。意義ある交流会にしましょう。」

各団体の代表が活動内容を紹介しました。

松戸市から、**高齢社会をよくする松戸ゆうゆう会**「一九八八年発足し、二五年になります。元市長が乳児の死亡が高いので妊婦を訪ねる制度を作ったことが出発点です。高齢者のために食事を作ったり、ボーリング大会、バスハイク、お誕生日会を企画・実施したりしています。平成一一年、総務省、千葉県より表彰されました。」**ひなげしの会**「一九八五年発足し、二七年になります。地域内の高齢者（七〇歳以上）を対象に食事を開催（年六回）。祭りなどの出店で資金作りをしています。明日がある。明日があるさ。を合言葉にしています。」**NPO法人フレンドスペース**「青少年の健全育成、医療・福祉、社会教育を目的にしています。活動内容は主にひきこもりのカウンセリングです。特に、親子関係に重点を置いています。相談者の八割は親です。」**NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど**「ベッドから、ベッドへの合言葉で、自動車で、病院への通院・学校への登下校などの移動支援（福祉有償運送）を行っています。毎日二〇台が運行しています。ミニ収入のある喜びなど七つの喜びをモットーにがんばっています。」

柏市からは**縦の会、TOMAC、手賀沼里山クラブ**から活動の紹介をしました。

交流会のまとめとして、松戸市の菊池副会長から「メンバーが高齢化する中で、若年層、次世代の育成が課題としてあります。今後はネットワーク化して、交流する中で、いいものはまねる。お互い刺激しあい、情報交流を日常的におこなう。今回の交流会の中で歳は関係ないという意見がありました。好奇心がキーワードではないでしょうか。」

松戸市からは一六団体、柏市からは、一八団体が参加しました。

今回の交流会は、充実したものになりました。